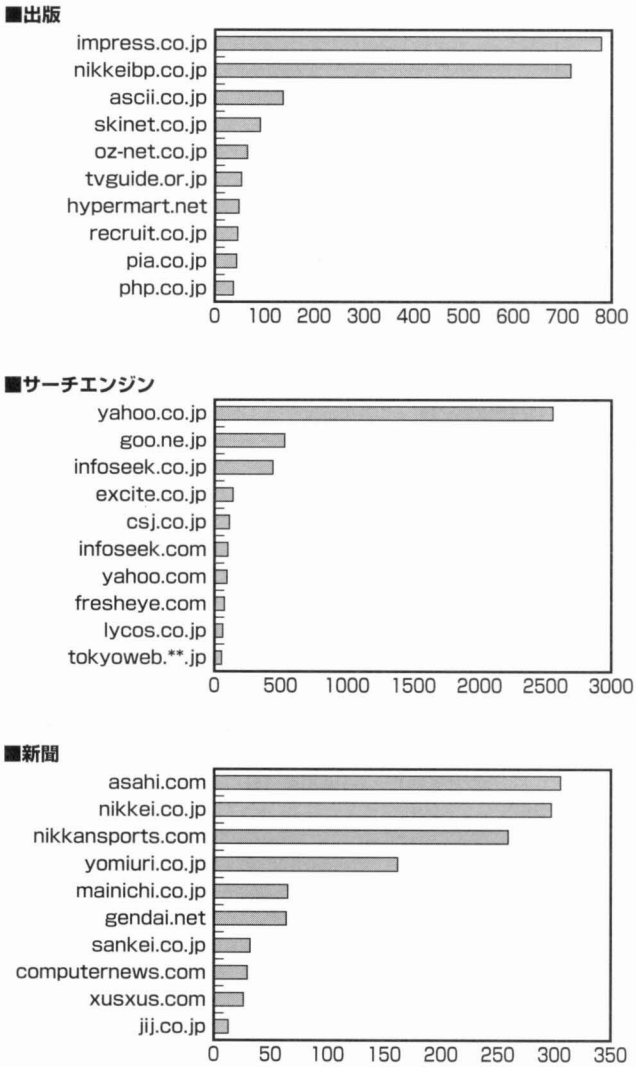
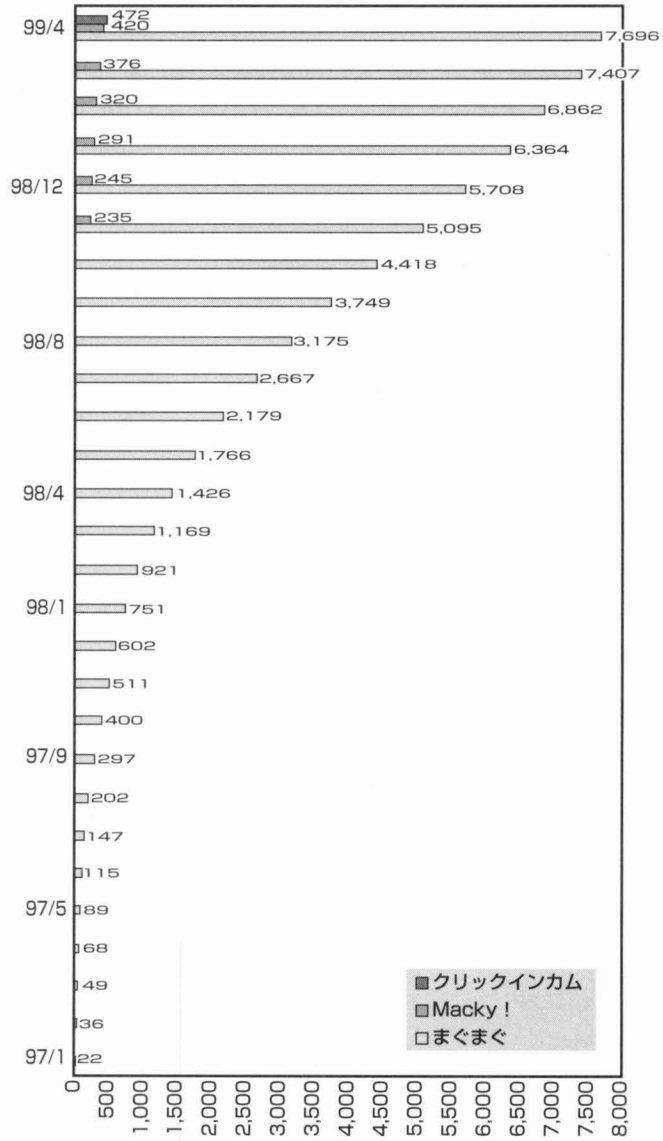
メールマガジン急成長

資料3-5-1　業種別ドメインランキング
（単位：サイトを持つ総合指標）



出所 ㈱日本リサーチセンター「Japan Access Rating Vol.2」
（http://www.istinc.co.jp/jar/ref.html も併せて参照のこと）
の資料を元に作成

資料3-5-2　主な発行代行サービスによるメールマガジン総登録数



出所 編集部の独自調査

解説

出版社、サーチエンジン、新聞社別の視聴率調査の結果を見ると、どちらもトップグループとそれ以外に分けることが可能だ（資料3-5-1）。

これら、トップグループのどれもがインターネットブームの走りである1995年～1996年にウェブマガジンを提供してきたサイトである。競合サイトも、そのほとんどが数ヶ月後にはオープンしているのだが、いまだに追いつくことができずにいる。

ウェブジンの状況

1998年は、1996年頃から開始したニュースサイトの衣替えが集中した年といえる。すべてに共通するのは「定型化」と「ブランド化」である。

たとえば、『asahi.com』では、カテゴリーごとに1ページに記事をまとめるというスタイルを捨てた。結果として、朝日も毎日も読売も同じようなサイト構成となった。これは、インプレス社の『ウォッチ』でも同様で『C｜net』や『ZDNet』と同じような構成となった。

また、毎日新聞は『ジャムジャム』と『アウロス』というブランドを捨てて、トップページに集約した。リクルートは紙メディアのブランド名を捨て、『ISIZE』という新ブランドに統一した。

一方米国ワーナーグループの『Pathfinder』などは、紙メディアの慣れ親しんだブランド名へ変更することになった。

メールマガジンの状況

1998年に最も延びたメディアといえば電子メールマガジンといえる。1995年12月にインプレスが発行した『インターネットウォッチ』をきっかけに、電子メールマガジンという形態が認知された。さらに1997年1月にユナイテッドデジタル（現在は株式会社まぐまぐとして独立）が開始した「まぐまぐ」と「くりくり」というシステムにより、

次のページへ

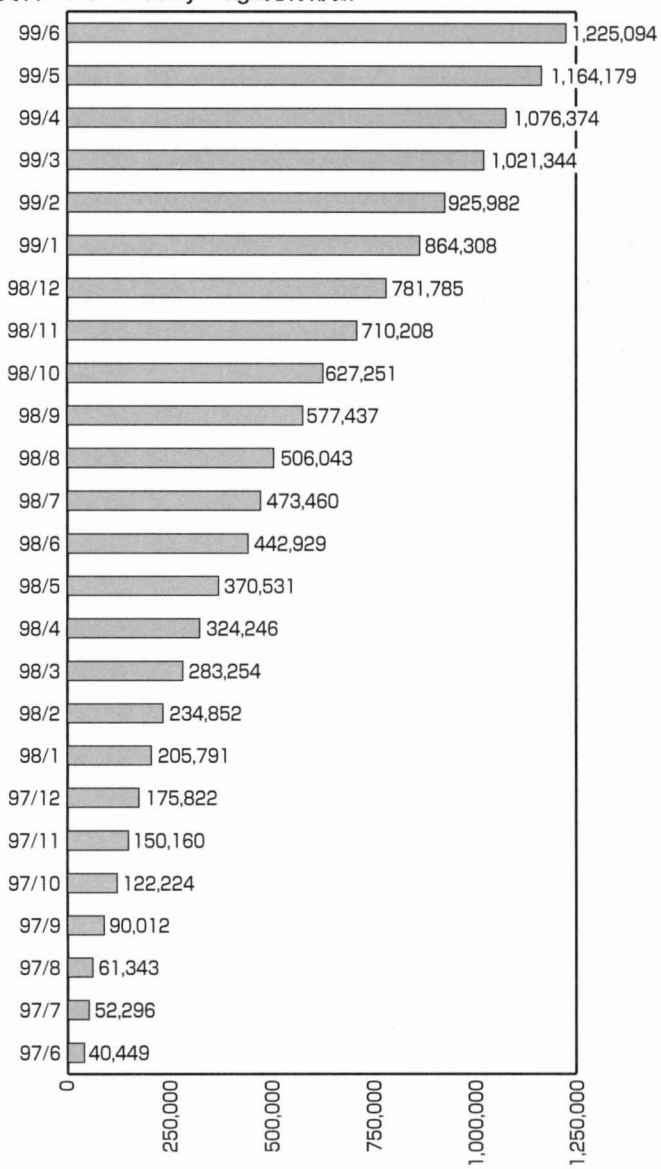
インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

第5章 出版

発行状況（2）

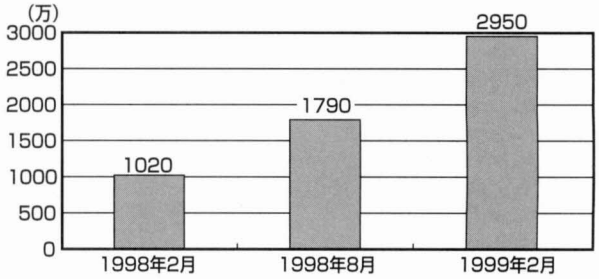
ウェブ情報量は既存メディアの倍以上

資料3-5-3 Weekly Mag2発行部数



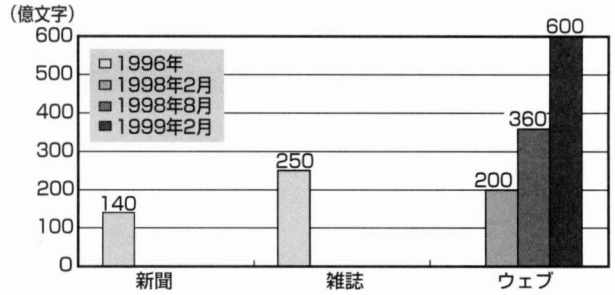
出所 ㈱まぐまぐからの資料を元に作成

資料3-5-4 ウェブページ総推移



出所 郵政研究所「我が国のwwwコンテンツ量の推計」の資料を元に作成

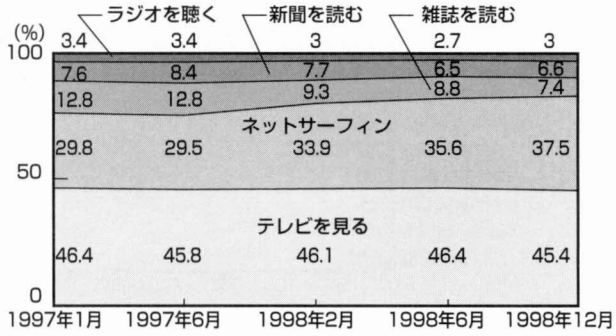
資料3-5-5 ウェブと他メディアとの文字数比較



＊新聞は1ページ当たり15000文字、雑誌は1ページ当たり2500文字、ウェブは1ページ当たり2000文字で計算

出所 郵政研究所「我が国のwwwコンテンツ量の推計」の資料を元に作成

資料3-5-6 最も時間を費やすメディア（N=4,125）



出所 ㈱サイバー・スペース・ジャパン「第9回www利用者調査」の資料を元に作成

解説

無料で手軽に大量配信が可能になり、一気に個人のウェブページ並に身近になった。

そのまぐまぐの登録誌数を見ると1998年初頭で、ようやく1,000誌前後だったものが、1999年3月には、7,000誌を超え1998年で急激に伸びていることがわかる（P.109資料3-5-2）。また、『Weekly Mag2』（まぐまぐで購読した読者に送られるPRマガジン）の読者数（ほぼ全員に送られるため、まぐまぐに登録されたユニークなアドレスの総数と近似する）も、1997年一年で20万人前後だったものが、1999年3月には100万人を突破しており、8割の読者が1998年に初めてメールマガジンを購読したと言える（資料3-5-3）。

この『Weekly Mag2』の100万人は、一般週刊誌である『週刊ポスト』などに匹敵する規模であり、株式会社まぐまぐが『Weekly Mag2』の広告収入で運営されているのも頷ける。

このまぐまぐの成功を刺激され、1998年後半から1999年初頭にかけて、メールマガジン配信サービスが新たにいくつか立ち上がっている。

既存メディアとの比較

まぐまぐの読者数だけでなく、ウェブのページ数からも、インターネットが既存のメディアに肉薄したことがわかる。ウェブの総ページ数調査によれば、1999年2月には2,950万ページ、600億字分のデータが日本国内だけで存在するという（資料3-5-4～5）。また、総文字数は一年間に240億字増えたとしている。

同調査によれば、1996年での年間の新聞の文字数が140億字、雑誌が250億字と推定しており、97年、98年とも新聞、雑誌双方の総発行部数が増えていない（96→97には、新聞は0.4%の成長）ことを考えれば、すでに新聞雑誌の年間文字数（約400億字）を超えるデータ量があるといえる。

（編集部）

インターネット白書／ ©1996-2012 Impress R&D

Internet White Paper ARCHIVES
インターネット白書
ARCHIVES
1996,1997,1998,1999,2000

［インターネット白書ARCHIVES］ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

http://IWParchives.jp/

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先 | 株式会社インプレスR&D | ✉ iwp-info@impress.co.jp

©1996-2012 Impress R&D, All rights reserved.